

教 人文地理学概論

人文地理学

Introduction to Human Geography

IWAI Yuki

岩井 優祈

科目ナンバリング：DEC-2-346-03/DIB-2-431-03/DLP-2-349-03



■授業の目的及び到達目標

本講義は将来、地理の授業を担う学生を対象としている。中学・高校の地理では、広い視野に立って、社会に対する関心を高め、諸資料に基づいて多面的・多角的に考察する基礎力を培うことが求められている。前期・後期を通じて人文地理学の概括的な知識と方法を身に付けることを目的に、多様な地図や統計等を読み解く多角的な視点を獲得することを到達目標としている。

■授業計画

〔前期〕

- 1 「人文地理学」とは何か
「人文地理学」の研究領域を体系的に説明するとともに、人文地理学のさまざまな見方・考え方を知る。
- 2 人文地理学と地理空間情報
人文地理学において重要な分析ツールである「地図」について、その種類や表現方法、活用の仕方などを学ぶ。
- 3 自然災害と防災
日本および世界の自然災害を概観するとともに、人文地理学の視点がどのように防災に役立つのかを理解する。
- 4 人口①
日本および世界の人口分布を概観する。また、人口移動と都市化について理解する。
- 5 人口②
人口問題について理解するとともに、それらの地域的特徴を把握する。
- 6 農業①
多様な農業形態を概観するとともに、農業の立地に関する理論モデルを紹介する。
- 7 農業②
日本および世界の農業について、その地域的特徴を把握する。
- 8 工業①
工業発達の歩みを確認しながら、どのように工業が分化し、立地してきたのかを理解する。
- 9 工業②
日本および世界の工業について、その地域的特徴を把握する。
- 10 商業・サービス業①
モータリゼーションやコンビニエンスストアの台頭といった、商業をとりまく地域変化を理解する。
- 11 商業・サービス業②
現代商業を支えるグローバルな貿易について、その構造および地域差、経済連携などを理解する。
- 12 産業と地域
前期で学んだ産業に関する人文地理学のアプローチ手法を総括し、議論することで人文地理学の多角的視点について理解を深める。
- 13 まとめ
学期試験とそのフィードバックとしての解説。

〔後期〕

- 1 イントロダクション
前期で取り扱ったテーマの内容を踏まえつつ、人文地理学のより広い研究領域について説明する。
- 2 観光①
余暇と観光に関する基本概念を踏まえつつ、その地域的特徴を理解する。
- 3 観光②
観光に関連したさまざまな地域問題を理解する。
- 4 集落①
集落の立地と起源について概観する。また、集落の形態と機能を理解する。
- 5 集落②
業務機能や商業機能など、さまざまな機能から構成される都市の内部空間を理解する。
- 6 民族①
世界の民族について、その地域的特徴を理解する。
- 7 民族②
人種・民族に関わる複雑な問題とその背景を、地域の視点から理解する。
- 8 交通・通信①
日本および世界の交通発展状況について理解を深める。
- 9 交通・通信②
情報化の進展およびグローバル化に伴う地域変容について理解する。
- 10 資源・エネルギー・環境問題①
「資源」とは何なのか、私達の生活とどう関わっているのかを理解する。
- 11 資源・エネルギー・環境問題②
環境問題の歴史を概観するとともに、環境政策と地域の関わりについて理解する。
- 12 さまざまな地域課題
現代社会におけるさまざまな地域課題に関する人文地理学のアプローチ手法を総括し、議論することで人文地理学の多角的視点について理解を深める。
- 13 まとめ
学期試験とそのフィードバックとしての解説。

■授業の方法

講義形態を基本とするが、各講義で取り扱うテーマに関して積極的なグループディスカッションやグループワークへの参加が求められる。さらに各テーマに即した課題に取り組んでもらうことで学生の理解を深めていく。※講義内容は進行状況によって前後する可能性があります。

■予習・復習

【予習】授業計画の各テーマについて教科書を読み、日頃から時事問題にも注目して下さい。

【復習】講義内容の要点を整理し、講義で行った課題の趣旨や内容も再確認してください。

■成績評価の方法（成績の評定方法、授業態度、レポート等の扱い）

授業参加(グループディスカッション・リアクションペーパー・課題など) 60%、レポート・試験 40%

※レポートの未提出、試験の未受験は評価対象外となってしまいますのでご注意ください。

■教科書・参考書

【教科書】新詳地理資料 COMPLETE 2023 (帝国書院)

【参考資料】適宜配布

色鉛筆（3本程度）をご持参いただくとよいと思います。

■関連する科目

地理、自然地理学Ⅰ・Ⅱ、地誌Ⅰ・Ⅱ、人文地理学概論、人文地理学概論Ⅰ・Ⅱ

■当該科目の実務経験（該当する場合のみ記載）

岩井：人文地理学・GISの手法を応用し、防災に関する地域調査に従事した実務経験を有している。

藤井：総合商社およびベンチャー企業にて、地理空間情報・GISの商業利用推進に関し、日本、米国、中国において従事した実務経験を有している。